



先人たちが守ってきた我が国を、
次の世代へ引き継ぐために

討議資料



さわたまこと

61
歳

日本人ファースト参政党
これ以上、日本を壊すな!

後援会入会のご案内

プロフィール 澤田 誠 さわたまこと

1965年2月生まれ / 山口県出身 / 山口市在住

山口市で生まれ育つ。
阿知須小・中学校、山口高校、広島修道
大学人文学部英語英文学科を卒業。
大島測量調査設計(株)入社、退社。
1992年に生まれ育った山口市へもど
り、澤田誠土地家屋調査士事務所を開
業。保護司、氏子責任役員、その他、
地域の調整役として活動中。



- 1983年 山口高校卒業
- 1987年 広島修道大学人文学部英語英文学科卒業
- 1987年 大島測量調査設計株式会社入社
- 1992年 澤田誠土地家屋調査士事務所を開業
- 2022年 8月 参政党に入党

さわたまこと後援会事務所

〒754-1277 山口県山口市阿知須4247-10

TEL 090-2294-0281

Mail sawata.makoto.0228@gmail.com

x.com/SawataMakoto さわたまこと 検索

後援会入会のお願い ●後援会入会申し込みは別紙参照

後援会規約抜粋 本会は、さわたまこと後援会と称し、適切な政策を議論できる人的素地を作ることを目的とする。目的に賛同し、入会申込書を提出した者をもって会員とする。
※いただいた皆様の個人情報は、本後援会の目的以外には使用いたしません。

参政党 はHP/SNSで
さまざまな情報を発信しています。

ごあいさつ

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

私は参政党と出会い、日本の歴史を深く学ぶようになりました。靖国神社はじめ全国の護国神社を参拝することは、妻と私の大切な習慣となっています。

妻の祖父も、大東亜戦争において沖縄へ出征し、祖国を守るため尊い命を捧げています。

戦後80年の節目に私達は沖縄を訪れ、沖縄戦として全国で散華された英霊に哀悼の誠を捧げ、感謝を伝えました。

その旅を通じ「日本はこのままでいいのか」「命がけて遺した未来はこんなものなのか」「私は英霊に顔向けできるのか」という問いが心に強く響いてまいります。

失われた30年の責任は、私たち一人ひとりにもあるのではないかと感じます。こうした思いを胸に私は自らの残された時間を砂郷地区・阿知須地区をはじめとする地域のため、山口市のため、そして、日本のために捧げようと決意いたしました。

山口市から、強く明るい日本をつくる。

その一心で全力を尽くしてまいります。

皆様のご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

令和八年 早春

澤田 誠



さわたさんに期待しています

地域から日本を変えるために、さわたまことさんの力が必要です。後援会へのご入会、よろしくお願い申し上げます。

参政党 代表 / 参議院議員

神谷 宗幣

さわたまことの“3つの約束”

1 【物価高対策】即効！ プレミアム商品券

～家計を救い、地元の店を盛り上げる～
市内どこでも使える商品券を、全市民へスピーディーに発行します。
市内企業の売上を直接増やし、
山口の経済に「活気」を取り戻します。

2 【食の安全】給食に 「菌ちゃん野菜」を

～無農薬・無肥料栽培で次世代の健康を～
学校給食に山口市産の安全な野菜を導入。
子どもたちに「本物」を届けます。
経費を抑えた「強い農業」を推進。
耕作放棄地を宝の山に変え、農家の所得を上げます。

3 【公平な市政】不公平な 未納・特権はNO！

～外国人政策の適正化と、

日本人のための内需拡大～
外国人の税金未納を徹底調査し、
厳格に徴収。正直者が馬鹿を
みない市政を貫きます。
外国人頼みの補助金を見直し、
地元の若者雇用と「国内
観光」の強化に予算を
集中させます。



日本人ファースト参政党

“3つの柱と3つのNo!”

1 教育・人づくり

学力(テストの点数)より
学習力(自ら考え自ら学ぶ力)の高い
日本人の育成

2 食と健康・環境保全

科学的な物質に依存しない
食と医療の実現とそれを支える
循環型の環境の追求

3 国のまもり

日本の舵取りに
外国勢力が関与できない
体制づくり

1 増税にNo!

国民負担率は35%を上限とし
減税+社会保険料を減額
※現在の国民負担率：45.8%

2 過度な移民政策にNo!

人手不足解消や人口減少の問題に対して
移民を受け入れるよりも
国民の就労と所得向上を推進

3 過剰な再エネにNo!

メガソーラー・風力発電の
推進による環境破壊を阻止し
再エネより次世代火力発電を推進

参政党とは？

身近なコミュニティ活動から始める政治参加。

政党とはまじめに税金を払って働いている人々のために働くもの。ところが、現実には縁故者や世襲の人々で党員が占められていたり、議員の選挙要員にされているのが現状です。
参政党では党員活動に義務やノルマはありません。まずは同じ思いをもった国民が集まり、
エリアやテーマごとにコミュニティをつくり、つながり合うことで新しい流れをつくっていくことを目指しています。

先人たちが守ってきた
この地域を、次の世代へ
引き継ぐために



参政党の政策
詳しくは
こちらから▶▶▶▶▶



YouTubeで
参政党を見よう▶▶▶▶▶

